

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害用井戸設置事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	05	03	51
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における飲料水、生活用水を確保する。
事業内容	避難所となる小・中学校、公民館等に災害用井戸を設置する。また、既設の災害用井戸について、水質検査を実施し、飲用可能と判断する災害用井戸に順次、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	生活用水確保のため、平成8年度から本事業を開始したが、平成24年5月19日に発生した断水事案を契機として、生活用水のほか、飲料水の確保についての重要性が高まっている。このほか、既設の災害用井戸の中には、老朽化等による故障も発生していることから、設備の保守管理についても課題となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備件数	27	28	30	件	↑↑↑	
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果	避難所に災害用井戸が整備されることにより、市民の安心・安全に寄与する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年度には東部公民館に災害用井戸を整備した。また、向小金小学校の災害用井戸について、電動ポンプ化の工事を実施した。 なお、災害用井戸からの水が飲用可能かを判定するため、既設の災害用井戸に対し、水質検査を行った。 既設の災害用井戸の中には老朽化等による故障等も発生していることから、効率的な管理を検討する必要がある。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,051,900	6,717,100	10,562,520				
事業費(b)(円)		2,475,900	5,281,500	7,069,020				
うち一般財源		2,475,900	4,881,500	4,643,520				
職員給与費(c)(円)		7,576,000	1,435,600	3,493,500				
人役・職員(人)		1.00	0.20	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）					10			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	従前より実施している災害用井戸設置のほか、飲用可能としている既設井戸の電動ポンプ化工事を行い、効率的な生活用水及び飲料水の確保に努める。	③取り組みの課題	災害時における生活環境向上のためには、より多くの生活用水と飲料水の確保が必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	東部公民館に災害用井戸を新たに設置した。また、向小金小学校の災害用井戸については、電動ポンプ化の工事を実施した。この他、既設の災害用井戸に対し、水質検査を実施した。	④今後の改善計画	災害時応援協定の締結等による飲料水の確保について検討するほか、既設の井戸の保守管理について計画する必要がある。